

## 目標達成計画

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	利用者が重度化した場合の処遇について、入居の際に利用者・家族には口頭での説明はしているが、文書等で具体的に記載したものによる説明をしていないことから利用者・家族の不安も大きいと思われる。	重度化した際の処遇、及び退居となる場合も含めた具体的な要件についての文書を作成、利用者・家族に随時説明する。	「退居の要件」についての文書を作成、現在入居中の利用者家族に文書を郵送し、報告済みである。また今後、新規の利用者・家族には文書で説明していく。	0ヶ月
2	24	入居後も利用者の新しく得た情報や心身状態の変化などを追記していき、総合的に利用者の把握ができるような取り組みが必要である。	入居後に得た利用者の情報を記録・把握し、利用者のニーズに活用できるようにする。	インテーク表とは別紙で「入居後に確認された生活歴・習慣等の記録」の用紙を作成、随時必要な利用者の情報を追記できるようにする。また新しい情報をニーズとして活用できるものは、介護計画の支援内容に取り入れる。	3ヶ月
3	26	介護計画の定期的な見直しの際、利用者・家族との話し合いや積極的な要望の把握に努め、その時の利用者の現状に即した介護計画の作成が必要である。	利用者・家族の要望に基づいた支援内容を介護計画に盛り込む。	介護計画作成時において、「入居後に確認された生活歴・習慣等の記録」の他、「要望受付票」を活用する。また利用者・家族に要望を伺う機会をつくり、介護計画作成時の支援内容に反映させる。	3ヶ月
4	34	利用者の急変や緊急時の対応がより適切に行えるように実践的な内容を取り入れた研修を開催し、取り組むべきである。	緊急時対応の勉強会や研修を通じてより実践的な内容を取り入れ、全職員が周知できるようにする。	定期的に緊急時の対応についての事例検討会や、また訓練的な内容を取り入れた実践研修等の勉強会を適宜実施していく。	6ヶ月
5					ヶ月